

提出前に

```
%\setboolean{BudgetSummary}{true}
```

の様にコメントアウトして、コンパイルし直してください。

## 予算と研究組織のまとめ

2006 年 10 月 6 日

研究種目： 継続

研究期間： 2007(H19) ~ H23

研究課題名：「象の卵」

研究代表者：湯川秀樹

研究機関名：逢坂大学



(金額単位：千円)

**旅費等の明細**（記入に当たっては、研究計画調書作成・記入要領（継続）を参照してください。）

[illegible]

(金額単位：千円)

年度	年度合計	設備備品	消耗品	旅費	謝金等	その他
2007(H19)	204,923	24,600	159,789	6,734	5,000	8,800
2008(H20)	91,306	69,006	1,500	6,000	5,000	9,800
2009(H21)	8,500	0	0	6,000	2,000	500
2010(H22)	0	0	0	0	0	0
2011(H23)	0	0	0	0	0	0
2012(H24)	0	0	0	0	0	0
2013(H25)	0	0	0	0	0	0
合計	304,729	93,606	161,289	18,734	12,000	19,100
各品目の合計	304,729					

## チェックリスト

1. L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X のソースの中で、各品目の金額が必ず `\KLItemCost` か `\KLItemNumUnitCost` を用いて書かれていることを確かめてください。これらのマクロを使って書かれた金額の合計が、一番下の段の「各品目の合計」です。
2. 各年度、各項目（設備備品、消耗品、..）ごとの金額は、L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の表の中に書かれた、年度ごとの小計を表す `\KLSum` を用いて計算されています。必ず、表の中では `\KLSum` を用いてください。
3. 応募様式の中の表の「年度ごとの」小計と、上の表は一致していますか？（`\KLSum` が使われていないと、年度がずれます。）
4. 研究種目ごとに、申請予算の上限が定められています。公募要領をよく読んで確かめてください。
5. この表に現れる金額と、電子申請の際の「応募情報入力」の金額が、全て一致していることを確かめてください。
6. まさか、「象の卵」のための項目や金額は、もう残っていませんか??
7. 問題がなければ、keizoku.tex の初めの付近にある行を  

```
%\setboolean{BudgetSummary}{true}
```

のようにコメントアウトし、コンパイルし直して、「応募内容ファイル」を作り直してください。電子申請で送れるファイル形式は、「PDF」です。PS は受け付けられません。
8. 電子申請で送るファイルのサイズが、3MB 以下であることを確かめてください。もし、3MB を越える場合は、読み込んでいるきれいな図形の解像度を落としてください。また、読み込む様式ファイルの形式 (eps or pdf) を変えると `\usePDFform{true}` のコメントをつける or はずす、最終的にできるファイルの大きさは変わります。

研究組織表

(研究者番号) (フリガナ) (漢字等) age: (年齢)	(所属研究機関) (部局) 職	現在の専門 学位 役割分担	初年度 研究経費 (千円) = 204,923	エフオー ト (%)
研究代表者				
12345 ユカワ ヒデキ 湯川秀樹 age: 101	逢坂大学 原始殻研究所 名誉教授	殻物理 理学博士 殻探し	99,999	44
研究分担者				
67890 トモナガ シンイチロウ 朝永振一郎 age: 102	繰り込み大学 理学部 名誉教授	物理学 理学博士 殻の経路積分	12,345	10
age:			0	
age:			0	
age:			0	
age:			0	
age:			0	
合計 3 名		研究経費合計	112,344	
初年度に要求している予算額			204,923	

ERROR: 研究代表者と分担者に配分した研究経費の合計が、初年度の研究経費 204,923 円と一致しません。